


令和5年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	いのうえ ひでゆき	
氏名	井上 英幸	
所属・役職	一般社団法人 九州テレコム振興センター 主席研究員 宮崎県（参与）デジタル化戦略アドバイザー	
活動拠点	九州エリアを中心に活動中。	
略歴	<p>1990年3月 九州大学大学院総合理工学研究科修了（統計数学）</p> <p>1990年4月 松下電器産業株式会社（現パナソニック）入社</p> <p>1996年5月 宮崎県ソフトウェアセンター入社</p> <p>2004年4月 アボック株式会社入社</p> <p>2009年4月 宮崎県（情報政策課）入庁</p> <p>全庁のIT関連調達の支援、市町村の情報化（自治体クラウド等）支援、仮想化によるサーバー統合基盤構築、オープンデータの取組（庁内保有データの棚卸し）等に取り組む</p> <p>2016年4月（一社）九州テレコム振興センター 入社</p> <p>自治体のデジタル化に関する取組、計画策定等の支援に数多く取り組む</p> <p>2021.4～ 宮崎県（参与）デジタル化戦略アドバイザーを兼務</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体DX、計画策定、庁内の意識改革等 ・オープンデータ（自治体の所有データ棚卸し、公開サイト構築等） ・データ利活用（RESAS, IoT, AI 等） ・ICTを活用した行政改革 ・自治体クラウド ・ネットワーク（地域イントラネット等） <p>等</p>	
専門分野	<p>オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等） 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム デジタルデバйд対策</p>	
自治体向けメッセージ	<p>デジタル化による業務改革をはじめ、IT調達支援業務、自治体クラウド、行政システム全体最適化、オープンデータ等、デジタル政策全般に携わってきました。行政内部の実情を把握した実践的なアドバイスが可能ですので、どんなことでもご相談ください！</p>	
関連サイト		

地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>これまでの経験、業務等</p> <p>地域におけるインターネットの普及促進（H8～H20） インターネットプロバイダーの設立、運営、研修等 ネットワーク構築、Web システム等の開発等</p> <p>自治体関連（H21～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IT 調達支援 宮崎県在職中（H21-H27）毎年 100 件程度の IT 関連調達を支援 （仕様書、審査基準、実施要領等の作成や、随意契約時の見積精査・交渉等） ※関連して、防災行政無線システムの調達支援も複数の自治体で実施 ・ 庁内システムの全体最適化（H23～H25） 仮想化技術による全庁システムのサーバ基盤の構築・運営 ・ オープンデータ（H26～） 宮崎県における所有データの棚卸し、オープンデータサイトの構築、市町村とのサイト共有などデータのオープン化を図ると共に、庁内におけるデータの相互活用、地域におけるデータ利活用の裾野の拡大等に取り組む（全国で講演等も実施） ・ 自治体のデジタル改革、DX 推進計画策定等支援（R1～） 九州各県の市町村の進めるデジタル改革を庁内の意識改革、体制のあり方、進め方などそれぞれの自治体の状況等の応じてアドバイス（幹部含む職員向けの講義等も多数実施）
	これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高原町 ICT 利活用による地域活性化研究 ・ 宇佐市 ICT ビジョン策定支援 ・ 肝付町情報化基本計画策定支援 ・ 荒尾市 DX 推進計画策定支援 等